

郡上農林事務所の普及活動状況 令和4年11月30日現在

郡上の農業・農村を支える人材育成

■女性農業経営アドバイザー 第8回農業女子会を開催

11月24日に、郡上市内の女性農業者等を対象として、第8回農業女子会が開催された。農業女子会は女性農業者間のネットワークづくりなどを目的に、郡上地区の女性農業経営アドバイザーの主催で開催しており、今年度は市内で治療院を開設している女性農業者を講師としてお灸を使ったセルフケア方法を教わった。

参加者は、腕や足の様々なツボにお灸を置き、普段の作業で負担をかけている体を癒しつつ広く交流している様子が見られた。

農業普及課では、様々な機会を通じて女性農業者のネットワークづくりを促すとともに、女性農業経営アドバイザーの活発な取り組み継続を支援する。



【お灸を体験する様子】

■郡上トマトの学校 収穫後の生育状況調査を実施

郡上地域のトマト産地では11月7日に最終出荷を迎えており、今作の締めくくりとなるハウスの片づけが11月に入り各ほ場で行われている。

郡上トマトの学校でも収穫を終了した作型から片づけが始められており、研修の一環としてハウスごとの収穫終了株を調査した。

この調査は、着果数、茎の長さ及び株全体の茎の太さを測定することでこれまでの生育経過を推測し、それぞれの時期における肥培管理が適正であったかの判断目安としている。

農業普及課では調査したデータの集計及び分析を行い、研修生の次年度に向けた取り組みに生かせるよう今後の指導を行う。



【収穫後の調査で今作の生育経過を推測する】

安心で身近な「郡上の食」づくり

■夏だいこん ひるがの高原だいこん反省会を開催

11月8日、ひるがの高原だいこん生産出荷組合では、出荷終了とともに反省会が開催された。農業普及課からは、品種比較試験、安価な追肥資材による収量品質確認試験、降雨による肥料溶脱と生育に及ぼす影響試験、土壌の物理性改善方策、土壌流亡対策等を説明した。そして、次年度に向け、今年度の問題を把握して改善することが大切であることを説明した。

今後も、様々な栽培試験と栽培・出荷データの分析等により、だいこん産地の生産振興を支援していく。

郡上農畜水産物のブランド展開

■水稲 第8回郡上おいしい米コンテスト開催

11月13日に「第8回郡上おいしい米コンテスト」が郡上総合庁舎で、表彰式、競売会、記念講演という内容で開催された。

表彰式では、コンテストに応募があった96点の中から、コシヒカリの部で最優秀賞1名・優秀賞2名・奨励賞7名・地区賞3名、こだわり米の部（コシヒカリ以外の品種）で特別賞1名、小中学校の部は1校が表彰された。

競売会では、市内7事業者が参加してセリが行われ、最優秀賞を受賞した米が1俵9万円超えで落札された。また、記念講演として炊飯器メーカーの研究員を招き、「おいしいお米の炊き方」について講演が行われた。

農業普及課では、運営メンバーとして企画から食味分析や広報など全面的に支援しており、今後もこのコンテストを通じて郡上のおいしい米づくりを推進していく。



【第8回郡上おいしい米コンテストの様子】

地域資源を活かした農村づくり

■シャクヤク 富山県の薬用植物指導センターを視察

郡上市高鷲町鷲見・上野地区発展会は、耕作放棄の拡大を防ぐために、薬用作物のシャクヤク栽培について昨年度から検討を開始している。シャクヤクは収穫までに4～5年かかり、その間は追肥と雑草対策が中心で労力をあまり要しない。また6月上旬には華麗な花を咲かせ、地域資源となる可能性を秘めており、収穫物は薬用として販売できる。

このため地域での実証展示を拡大しようと、農業普及課の提案で11月10日富山県の薬用植物指導センターを10名が見学した。センターでは根茎の株分けから移植、肥培管理、収穫、調整作業まで一連の工程について説明を受けることができた。

参加した関係者は、地域づくりにつながればと期待を寄せており、農業普及課は継続して栽培に取り組めるよう支援を行う。



【説明を聞く関係者】